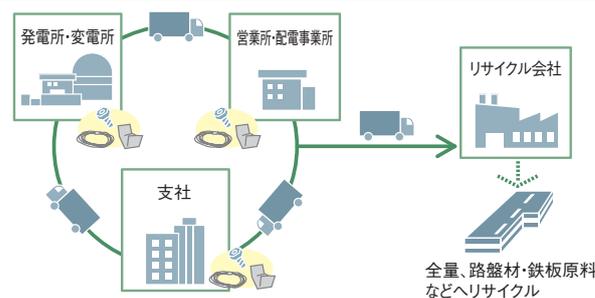


【産業廃棄物の共同回収】

全社的かつ恒常的に発生している産業廃棄物については、対象品目を定め、複数事業所で一括回収後、全量リサイクルする「共同回収」を行っています。

2018年度からはコンクリートくずを対象品目に追加し、効率的な回収による輸送面での更なる環境負荷低減にも努めています。

■ 共同回収の流れ



- 対象品目
 廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木製パレット、廃蛍光管、
 廃乾電池、コンクリートくず

【産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制】

2017年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、昨年の148トンから243トンに増加しました。引き続き、共同回収の的確な運用などにより、埋立処分量の抑制に努めていきます。

一般廃棄物

当社で発生する一般廃棄物には、古紙等のオフィス活動に伴うものや発電所の設備に付着する貝類、ダムに漂着する流木などがあります。これらの一般廃棄物についても、適切な管理・処理を行うとともに、3Rを実践しています。



詳細は [九州電力](#)

- ▶ 関連・詳細情報 (P1参照) ▶ 不法投棄パトロールへの協力
- ▶ 当社で発生する一般廃棄物のリサイクル状況

(参考) 古紙回収状況については、環境データ集 (P73) 参照

■ 古紙などの一般廃棄物の発生量とリサイクル率 (2017年度)

| | 発生量(トン) | リサイクル量(トン) | リサイクル率(%) | 主なリサイクル用途 |
|------|---------|------------|-----------|-----------|
| 古紙 | 1,153 | 1,153 | 100 | 再生紙 |
| 貝類 | 44 | 1 | 3 | 路盤材 |
| ダム流木 | 704 | 697 | 99 | 敷きわらの代用品 |

古紙のリサイクルについては、取組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙は、グループ会社の記録情報マネジメント(株)でコピー用紙やトイレトペーパーなどに再生されています。

グリーン調達

製品等の調達の際は、“まずその必要性を十分に精査の上、環境にやさしい製品等の調達を図る”ことを定めた「グリーン調達制度」を2002年度から導入し、お取引先とも協働して、製品等のグリーン調達に努めています。

【汎用品(事務用品等の市販品)】

汎用品については、当社購入基準(個別ガイドライン)に適合した環境配慮製品を原則購入することとしており、2017年度のグリーン調達率*は約100%となりました。

※:購入した汎用品に占める環境配慮製品の割合(環境配慮製品のある品目が調達率算定の対象)

【電力用資機材】

お取引先から応募いただいた製品等の情報・提案をもとに、特に良好と認められる製品を当社の「グリーン製品」として指定し、社内外に公表するとともに、積極的な調達を行っています。

【グリーン取引先】

積極的に環境活動に取り組まれているお取引先を「グリーン取引先」として指定(本書発行時点:230社)し、当社ホームページに企業名を掲載するとともに、見積参加機会の拡大等に配慮しています。



詳細は [九州電力](#)

- ▶ 関連・詳細情報 (P1参照) ▶ グリーン調達制度のご紹介